

2010年3月6日(土) 13:30～ セミナー (参加費無料)

# あいち 田んぼの生きもの調査

## 講演と調査報告

### ■趣旨

田んぼには、たくさんの生きものが住んでいます。  
今のシニア世代が幼少のころ、田んぼは子どもたちの大事な遊び場でした。カエル、ザリガニ、オタマジャクシ…生きものがいつも遊び仲間。田んぼは生活の中の身近な存在で、「生物多様性」あふれる場でした。

現代の子どもたちは、「田んぼの生きもの」に出会う体験をほとんど持ちません。田んぼへ入る機会が失われています。お米だけでなく、たくさんの生きものを田んぼが育てている。それは農家の不断の努力の上で支えられている。そういうことを知る人は年々減りつづけ、都会の子どもたちにとって、田んぼはもはや遠い存在になろうとしています。

今回のセミナーでは、「田んぼの生きもの調査はリクツ抜きに楽しい」ことをまずご報告します。

COP10を今年にひかえ、田んぼの力、生きものの魅力、生きもの調査法、広げる方法など、考えてみたいと思います。



■日時 2010年3月6日(土) 13:30～17:30 (受付 13:15～)

■会場 ウィルあいち 2階「特別会議室」(裏面に地図)

■主催 日進野菜塾 (協力: NPO 法人「生物多様性農業支援センター」)

■プログラム～下記の時刻は多少変動する場合があります。

時間	内容	お話いただく方
13:30	主催者ご挨拶	日進野菜塾
13:40～15:10	基調講演	「田んぼの生きもの調査の意義と生物多様性」 宇根 豊氏 (NPO 法人「農と自然の研究所」代表理事)
休憩		
15:20～15:40	調査報告	日進野菜塾
15:40～17:10	パネルディスカッション	「田んぼの生きもの調査を広げるために」 * 田んぼの生きもの調査の魅力、方法をどう伝えていくか、そのために何が必要か。各立場からの実践報告をまじえ、共に考えてみます。 ○原耕造氏(NPO 法人「生物多様性農業支援センター」理事長) ○宇根豊氏(NPO 法人「農と自然の研究所」代表理事) ○熊谷正道(日進野菜塾 代表) (愛知県職員さんのご参加も予定しています。) コーディネーター: 吉野隆子氏
17:10～17:25	質疑	
17:30	終了	



募集: 約60名  
(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

\*このセミナーは  
地球環境基金の助成を  
得て実施されます。

主催 Let's  日進野菜塾

〒462-0042 名古屋市北区水草町2-60-2 2棟414号 電話(052)910-7875 <http://n-yasai.juku.com/>

●会場案内図



【威尔あいち】

- 〒461-0016 愛知県名古屋市東区上笠杉町1番地  
TEL. 052-962-2511
- ・名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
  - ・基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分
  - ・市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分

■申込み・問合せ

参加希望の方は、FAXまたはメールにて申込みください。

日進野菜塾(担当 豊嶋) 電話&FAX:052-910-7875

メール:toyoshima@n-yasaijuku.com ホームページ <http://n-yasaijuku.com/>

\*下記ご記入の上、FAX、もしくはEメールで願います。メールの場合、内容を記入の上、お送りください

あいち田んぼの生きもの調査セミナー 参加申込み書

FAX 052-910-7875

■ 参加者

お名前	住所	電話番号(FAX)	年齢	所属

メールアドレス (パソコン用) \_\_\_\_\_

お申し込み理由 (よろしければご記入ください)

Let's  日進野菜塾

〒462-0042 名古屋市北区水草町2-60-2 2棟414号 電話(052)910-7875 <http://n-yasaijuku.com/>